

株式会社 クロッシェ

在庫管理システムを備えた自動テープ巻機導入による生産性の向上及びコスト削減

バックオフィス機能と製造工程に在庫管理システム等IoT 技術を備えた最新の自動テープ巻機を導入することで、生産性向上を図る。義務的コストを投資的コストへ転換を図る等、生産体制強化及び人材育成を通じて、京あめ市場の創造的好循環モデルを構築する。

■ 代表者	代表取締役 池村 武彦	■ 所在地	〒600-8052 京都市下京区綾小路富小路東入塩屋町69
■ 設 立	平成24年3月8日	■ TEL/FAX	TEL. 075-744-0840 / FAX. 075-744-0840
■ 資本金	9,950千円	■ URL	http://crocht.com
■ 従業員数	30人	■ E-mail	fujita@crocht.com
■ 業 種	飲食料品小売業	■ 得意分野	菓子関連商品の企画、設計、販売

目的、取組のきっかけ

弊社は京都で営々と紡がれてきた配合と技法にならい伝統的な京あめづくりにこだわってきました。すべて手造りで、ヨーロッパのあめの美しさの技術と日本で培われた味の技術を融合した、鮮やかな色合いの京あめを販売しています。平成24年に創業して以来京都市内に3カ所出店し、お客様から高い評価をいただいています。こうしたなか、弊社ではパッケージの工程と在庫管理の面で課題を抱えていました。

◆ パッケージングの効率化

弊社では商品の形状や鮮やかな色合いにこだわり、お客様に直にお伝え出来るよう、ケースにもこだわっています。瓶や缶ではなくシャーレという透明なケースへ入れており、より透明感を出すため樹脂量を減らしています。パッケージングはこのシャーレにテープを撒くことで行いますが、既存の包装機械ではシャーレが割れてしまったり、テープに気泡が入るなどするため、すべて手作業で行っていました。しかし手作業ではコツが要り、作業者ごとに出来栄が異なるため手直しも多く、1個撒くのに1分もかかっていた。そのためホワイトデーなどの繁忙期に十分な商品ができない状態でした。



テープ巻きしたシャーレ

◆ 在庫管理の効率化

弊社の商品は216種類、常時でも60種類あります。また、パッケージのこだわりから商品に応じて取引先も異なることもあって、在庫管理は煩雑になっていました。閉店後に在庫チェックを行うなど、人件費に余分なコストもかかっていた。

取組内容

◆ パッケージングの効率化に向けて

自動テープ巻機を導入することでパッケージングの効率化に取り組みました。本装置では①薄型シャーレ対応、②ネットワーク連動機能を設けています。

①薄型シャーレ対応

先述の通り既存の装置では弊社が使用するシャーレには対応できないため機能を開発しています。テープはシャーレを押さえつけて巻きます。抑える力が強いとシャーレが割れてしまい、弱いとシャーレが空回りしてテープに気泡が入るなどうまく巻けません。また、商品によってシャーレの大きさも異なるので、力の調整は難しく完成までに試行錯誤を繰り返しました。



自動テープ巻き機テスト

②ネットワーク連動機能

テープを巻いた個数を後述する在庫管理システム（ネットワーク）へ信号を上げるようにしました。今まで人が個数を数えて記録していましたが、煩雑でミスも起こりやすいため、ネットワークに取り込むことで改善を図りました。

◆ 在庫管理の効率化に向けて

煩雑な在庫管理の効率化を図るため新たに在庫管理システムを導入し、オンラインでリアルタイムに在庫の動静を確認できるようシステム化しました。本店と支店の在庫状況（レジとの連動）や製造状況、資材の在庫状況など管理しています。

企業概要

京あめの小売業
2013年 2月 下京区綾小路に1号店をオープン
2017年 4月 京都タワーサンドへ2号店をオープン
2018年12月 JR京都伊勢丹へ3号店をオープン



Crochet 京都本店



Crochet 京都タワーサンド店



Crochet JR 京都伊勢丹店

主要取引先

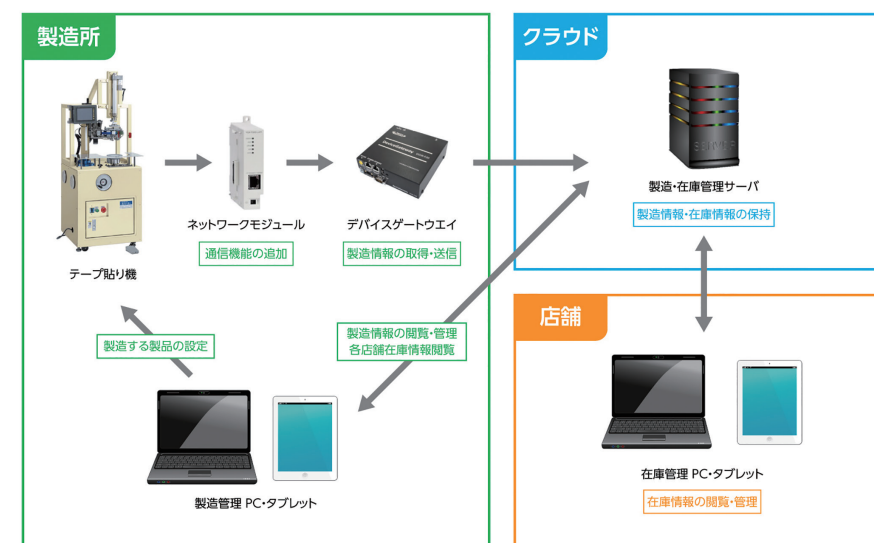
株式会社三越伊勢丹
株式会社阪急阪神百貨店
株式会社高島屋 など

主要製品

・手鞠飴などの京あめ



導入後はシステムを使いこなすのに多少時間がかかりました。作業は学生アルバイトを中心に行っていますが、今の若い世代はスマートフォンには慣れていてもパソコンには慣れていません。また、失敗を恐れて操作を嫌がるなど心理的な面でも負荷がありました。さらに管理画面も簡易にはしているものの、複雑さは否めず扱いは難しいものでした。そこで、失敗を恐れないう意識の変化を促すのに時間をかけ、マニュアルを作りながら作業手順を示して育成していきました。今は問題なく運用できていますが、定期的に雇用が生じるので今後も運用面や育成面での改善を図っていく必要を感じています。



導入機械装置・システム連動イメージ図

成果と今後の展開

今回の補助事業により以下の成果を得ることができました。

◆ パッケージングの効率化

自動テープ巻機の導入によって作業効率は大幅に向上しました。導入前は箱詰めも含め常時15人程度で行っていた作業を現在は5人で行いながら、生産量（額）は4倍ほど向上しています。パッケージングの出来栄も均一化し密閉率も向上しました。

パッケージングは地味で煩雑なものなので人気のない作業です。効率化で生まれた時間を人気の高い店舗での



自動テープ巻機作業風景

接客に振り向けることができ、従業員のモチベーションも上がったように感じています。

◆ 在庫管理の効率化

閉店後の在庫確認や作業ミスなども減少し、コストも削減ができました。製品・部材ともリアルタイムで在庫状況を確認できるので無駄な発注がなくなりました。製造・管理両面で効率化出来て、今後利益率の向上も見込めます。

◆ 今後の展開

生産能力と在庫管理精度の向上によって、より多くの商品提供が可能となりました。これまで欠品を恐れて商談を断ることもありましたが、今後は販売体制を整えて積極的な事業展開を行っていく予定です。具体的には4店舗目の常設店開設や全国の百貨店催事への積極的な対応に加え、ECサイトの商品ラインアップの拡充を図っていきます。また、コラボ企画などの商品開発にも取り組み、新規販路・顧客への営業活動を強化していきます。今後も「京都ブランド」を活かし京都を中心に店舗を広げていく予定です。